

美しが丘地区社協だより

発行 美しが丘地区社会福祉協議会事務局 / 52sho08@gmail.com



美しが丘地区社会福祉協議会は、美しが丘1、2、3丁目の各団体の代表および個人が参加して組織構成され、社会福祉活動を進めていく任意団体です。地域の皆さんが安全に安心して暮らせる街づくりを、福祉の面で支えていきたいと願っています。

美しが丘地区社会福祉協議会 通常総会 (2024年5月19日に開催)

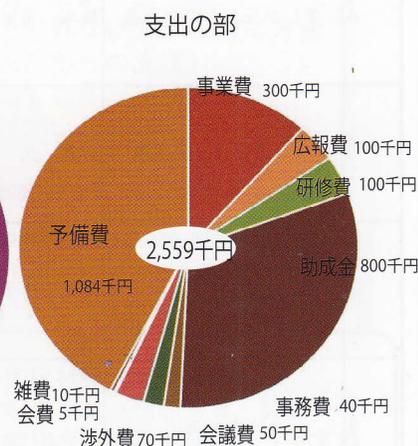
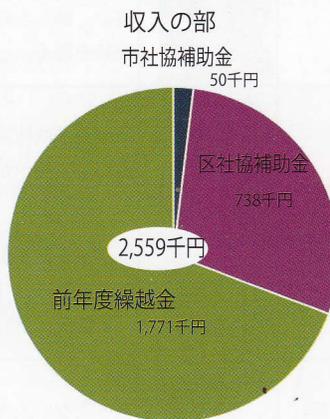
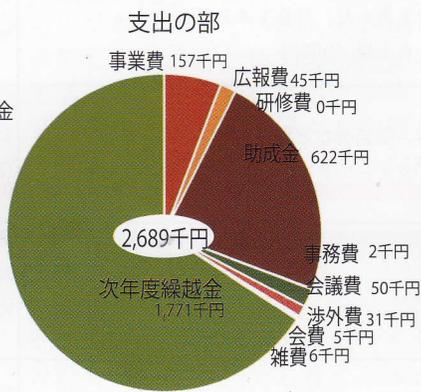
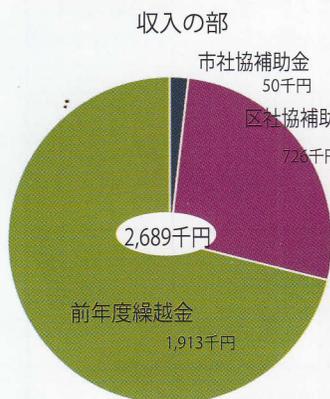


下記「2023年度決算と2024年度予算」が承認されました。美しが丘地区で活動しているボランティア団体を支援していきます。

2023年度決算

と

2024年度予算



赤い羽根共同募金

10月1日(火)たまプラーザ駅頭で募金活動を行うことができました。皆様の温かいご協力をいただき、誠にありがとうございました。

←青葉区からも来ていただきました。



たまプラーザ駅前にて



各団体ごとに活動発表を行っていただきました。以下に発表していただいた団体の事業概要を一覧表に示します
2024年度美しが丘地区社協助成金申請事業一覧（順不同、敬称略）
 （参加費、活動日は変更することがあります。）

項番	申請事業名	代表者名 (副代表)	発表時の状況	事業概要	活動場所	活動日
1	美しが丘 子育て広場	岩佐 由美		地域の子育て活動支援を行う。横浜市地域育児教室と同時開催。子育て相談や親子のふれあい、仲間づくりの場の提供。 ※参加費/無料	たまプラーザ 地域ケアプラザ	毎月第3水曜 * 8月は休み
2	名作映画とお茶の会	半澤 尚美		美しが丘1~3丁目居住の高齢者を対象に名作映画鑑賞の後、茶菓子とともに懇親の場を提供 ※参加費/お菓子代100円	たまプラーザ 地域ケアプラザ	6月、10月、3月 (年によって変動年三回)
3	いきいき健康サポート	齋藤 典子	(欠席)	地域の方々の健康チェックとケアプラザの協力による健康相談会を実施。 ※会費/無料	あおばフレンズ	毎月第4金曜 7,12月は休み
4	いきいきサロン	三井 早苗 (菱木 宏子)		自立した人達が、気軽におしゃべりできる場所を提供することを目的に開所しました。茶菓子や歌を楽しみ、お誕生日会などのイベントも行っています。 ※会費/200円	たまプラーザ 地域ケアプラザ	毎月第2火曜 8月は休み
5	たまプラ食堂	阿久津 裕		孤食者のための食堂で地域交流を図る。コロナ下では音楽会や寄席も実施している。 ※会費/500円 定員/30名 スタッフ9名	たまプラーザ 地域ケアプラザ	毎月第2木曜 15:30~
6	美しが丘おたのしみ会	橋本 香里		対象者（美しが丘1~3丁目に居住の65歳以上）が集い、催しものを見たり、会食をすることで、親睦を図る。 ※会費/500円	たまプラーザ 地域ケアプラザ	毎月第2金曜 8,12月は休み
7	SUNサロン元気塾	大澤 大		認知症予防体操、茶話会などを通して仲間作りを行い、会員同士お互いが支え合います。 ※会費/3ヶ月2,000円	SUNサロン (西部自治会館)	毎月 第2,4月曜
8	かがやきクラブ 映画とお茶の会	山田 慶子	(欠席)	美老連地区友愛クラブが中心となり、映画鑑賞を通して親睦をはかる。 ※会費/無料	たまプラーザ 地域ケアプラザ	4,6,10,11,3月
9	たまプラーザ・ みまもりあい プロジェクト	小松 礼次郎 (大野 承)		ある人ない人カフェ（認知症カフェ）を月1回開催して、当事者・家族・従事者の交流と支えあいをはかる。	生活協同組合パル システム神奈川 3丁目カフェ	年12回
10	まちぐるみの子育て	関 哉子 (野田 昌美) (新原ゆり子) (蒲田 聖子)		子育てに関わる人々が顔の見える関係性をはぐくみ、対話をしながらつながりを深め広げる「タウンミーティング」やこのまちのあらゆる人々が交流できる場の「ファミリーリソースプロジェクト」などを企画運営しています。	たまプラーザ 地域ケアプラザ さんかくBASE	年3回 年5回
11	てんとうむしの会	朝香 好平 (北嶋 伸吉)		高齢者に「安全で効果的で楽しい」転倒予防運動方法の普及と啓発に努めている。30分の運動・音楽と60分の交流会	3丁目カフェ	年12回
12	かよう会	伊藤 嘉春 (木村 愛子)		24年6月スタート。団地高齢者中心に歩き方、スマホ講座、体操など実施。	たまプラーザ 団地集会所	毎月第1火曜 1月8月は休み
13	たまプラーザ手作りの会	阿久津 明美 (池内美由紀)		家庭で余っているものの有効利用。指先や頭をつかうことで認知症予防。習得技術を、他の場所に広める。	たまプラーザ 地域ケアプラザ	毎月第1金曜日 と第3月曜日

美しが丘地区社会福祉協議会全体会議を開催

11月6日(水)、美しが丘地区社会福祉協議会全体会議、をたまプラザ地域ケアプラザにて開催いたしました。

1. 美しが丘地区活動報告

左記の表にある通り、各団体は活動報告を行いました。

2. 地域活動あんなことこんなこと

3グループに分かれて話し合い今後の活動に向けた情報・意見交換を行いました。最後にグループごとに発表をしました。

R6.11.6 美しが丘地区社協全体会 グループワークまとめ

各グループ討論風景



【目的】

- ・孤食防止
- ・健康づくり・転倒予防
- ・誰もが集え、楽しく通える場所
- ・ひきこもりがちな高齢者の外出の場の一つ
- ・高齢者の居場所、外出先の一つ
- ・気になる人を早期に見つけられる場所の1つ
- ・子育てに関する「顔の見える関係づくり」
- ・「元気になる」「友達ができる」「ケアプラザのことを知れる」
- ・認知症について駄々しい知識を得る、当事者家族との交流



様々な目的がありますが、
【つながりづくり】【集いの場】が多いですね！

【課題】

- ・担い手の減少・高齢化
- ・運営資金の確保
- ・参加者の減少・高齢化・地元の人（区内の人）の参加者が少ない
- ・今まで参加できていた人が参加できなくなった時、会場まで来れない人への対応方法（参加したいけど、体力面や認知機能低下等で参加が難しい人たちへの支援）
- ・生活スタイルが変化すると、今まであったつながりが途絶えてしまう
- ・参加者の情報不足（様々な制度や取り組みがあるが、知られていない）
- ・参加者の固定化（周知してもなかなか集客ができない）



運営面での課題と
参加者の課題がありそうですね…

【希望】

- ・生活スタイルの変化で、今まであったつながりが途絶えてしまっても、その時々に必要な情報が届けられるといい。
- ・分野を問わず、誰でも集える場になると良いと思う。
- ・団体同士のつながり強化・ネットワークの拡充。
- ・団体間で協力し合える関係が作れるといい。
- ・団体同士での情報共有・情報発信ができるといい。



地区社協助成金団体間の
つながり（情報共有・発信）の
強化が出来ると良さそうですね

各グループ発表風景



発見

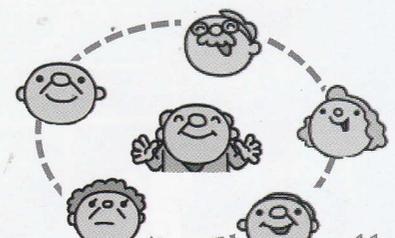
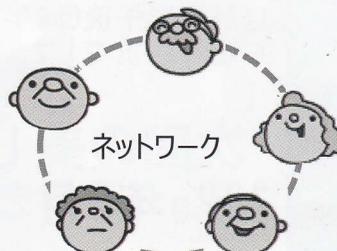
共有・検討

解決

困っている人に気付く

気付いたことを話す場がある

- ・助けあいや専門機関につなぐ
- ・他の困りごとにも気付く
- ・相談しやすくなる



夏祭り7月27日28日たまプラーザサマーフェスティバル 「盆踊り会場」出店



美しが丘地区社会福祉協議会、は美しが丘老人クラブと同じテント内で「たまプラーザ検定」を実施しました。
419名の方に参加していただきました。

問題1:たまプラーザ駅の開業は何年前でしょうか
A:80年前
B:60年前
C:40年前

問題2:次の学校のうち一番早く開校したのは
A:美しが丘中学校
B:美しが丘小学校
C:美しが丘東小学校

問題3:たまプラーザ駅に建つこのモニュメントの名前は
A:みらい
B:ラッキー
C:しあわせ

問題4:この並木道の木の名前はなんでしょう
A:けやき
B:かしのき
C:いちょう

問題5:1950年代美しが丘1〜3丁目が開発された手法は
A:建築基準法
B:土地区画整理事業
C:からからぼん方式

問題6:美しが丘第○公園は何時まであるでしょう
A:第9公園
B:第10公園
C:第11公園

美しが丘社会福祉協議会・美しが丘老人クラブ連合会

美しが丘地区福祉バス旅行2024年5月29日(水)

めんたいパーク伊豆～中伊豆ワイナリー～沼津御用邸～沼津港深海水族館

前夜の暴風雨も明け、絶好の旅日和。46名の乗客（参加40名、スタッフ6名）を乗せた大型バスは、東名高速の海老名S.A経由で沼津インターまで快走します。

めんたいパーク伊豆は、博多めんたいの伊豆支店？集合写真を撮影してから工場直売の明太子を味わい、お土産を物色。工場見学、キッズコーナー、足湯も完備。

中伊豆ワイナリーは小高い丘の上、整然と広がる葡萄畑に心いやされます。ワインと共にフレンチ料理に舌鼓。



新鮮な野菜、特に今が旬のアスパラガスを堪能しました。

沼津御用邸は明治38年に創立後、昭和天皇の御用邸として77年間使用されました。

その後、記念公園として一般公開。西附属邸は御殿内の観覧も可能です。

沼津港深海水族館の目玉はシーラカンス。剥製三体と冷凍二体を見て、その独特な形と大きさにビックリ。メンダコ、タカアシガニ、ヒカリキンメダイも展示中です。

特長のある4箇所を回って、皆さん観光に買い物に大満足の様子。それ



以上に楽しんでいたのは、移動中のバスの中での賑やかで笑顔いっぱいの会話でした。

男性7名、女性39名を乗せた大型バスは、海老名S.A経由で美しが丘に午後6時半に無事戻りました。皆さま、駆け足の一日お疲れさまでした。

**次回の美しが丘地区福祉バス旅行は
2025年5月ごろの実施の予定です。**